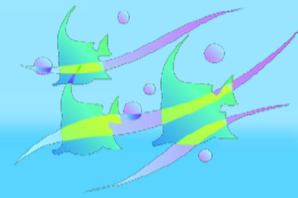


## あいまいな言葉が偏見につながるのかも？

私たちは日常生活の中で、何気なく言葉を使っています。  
意識していない時に出るその言葉が、知らず知らずのうちに偏見や思い込みを生み出しているかもしれません。

**あいまい言葉** たとえば……。

- 「普通はこうするよね」
- 「みんなそうしている」
- 「あの人は○○だから」の決めつけ言葉



あなたも、聞いたことはありませんか？



「普通」とは誰にとっての普通なののでしょうか？  
「みんな」とは本当に全員なののでしょうか？

このような言葉は便利に使えますが、人には個性があり、考え方も多種多様です。自分だけの常識を全ての人に当てはめていないか？振り返ることが大事かもしれません。

### 偏見との関係

「高齢者は○○だ」とか「最近の若者は我慢できない」、  
「女性は感情的だ」など、一部の経験や印象だけで人を判断してしまうと、その人自身の本質を見る前に、決めつけによって偏った見方をしてしまいます。

偏見は悪意から生まれるとは限りません。むしろ何気ない言葉や思い込みから生まれることも少なくないのです。

言葉には人を傷つける力もあれば、人を元気にする力もあります。  
あいまいな言葉に気づき、偏見のない他人を思いやれる【やさしい社会】を目指しましょう！



おばちゃん2

